

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 別府大学短期大学部実施報告書



実施主体 初等教育科・保育科 学生

実施内容 平成25年11月2日・11月23日の大学祭にて啓発活動、11月16日  
「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinおおいた」において話題提供

## ①事前に取り組んだ内容

各種施設および団体から講師を招いて次の講義を実施した。児童相談所ケースワーカーより「児童虐待と里親制度について」、人権同和教育啓発課 教育相談員より「子どもの人権について」、児童相談所 一時保護課長より「児童虐待の実態」、地域子育て支援センター長より「子どもの心に寄り添って」、児童相談所 一時保護課長より「保育者に求めるもの」

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・別府校及び大分校にポスターを掲示し、啓蒙活動を行った。
- ・「学園祭」(別府校及び大分校)、「わくわくフェスティバル」、においてコーナーを設置し【オレンジリボンのボード】を掲示、学生が来場者に対してパンフレットとオレンジリボンを渡しながらか説明を行った(写真参照)。
- ・11月16日(土)「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinおおいた」第1分科会において、専攻科学生が話題提供を担当。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・昨年度からの取り組みということもあり、学生の取り組みが前向きであった。また、事前学習を行ったことで、学生が主体となって運動を行い、対象者に説明をすることにより、児童虐待に対する学生自身の理解が深められ、意識の向上につながった。
- ・対象者に親子及び保育者が多かったことから、児童虐待について考えてもらう良いきっかけとなり、効果的な啓蒙活動ができた。

